

大阪府・大阪市の文化関連事業一覧

(大阪市事業の「今後の方向性」についての検討結果(案))

戦略① 「大阪の街を使いこなす」～都市全体を発表の場に！

事業名	概要	23当初予算	22実績	分野
おおさかカンヴァス推進事業	大阪のまち全体を「カンヴァス」に見立て、アーティストの発表の場として活用することにより、世界中からアーティストの集まる都市をめざし大阪の新たな都市魅力を発信（うち緊急雇用創出基金153,422）	192,139	募集224件、実施23作品	
府庁本館活用事業	府庁本館を芸術文化活動の場として提供し、文化芸術団体の自主的な事業を促進	116	公演回数 11回 観客数 1,973人	
大阪楽座事業	歴史的建造物を活用した文化活動を支援することにより、活動の場の拡大とまちの賑わいづくり、歴史的建造物保存の意識を醸成	—	実施事業数 16件	
御堂筋の魅力創造・発信事業（御堂筋kappo、御堂筋オープンフェスタ）	大阪のシンボルである御堂筋を魅力的に演出することで、大阪のまちの魅力を国内外に発信するとともに、一層のにぎわいの創出	57,695	来場者数 約40万人(御堂筋kappo)	
水辺のにぎわい創出事業	水都大阪2009の仕組みとノウハウを継承しながら、府・大阪市・民間が連携し、水辺のにぎわいづくりやまちの活性化に向けた活動を展開（水都賑い創出実行委員会への負担金）	37,324	来場者数 約32万人	
大阪城星空コンサート	西の丸庭園を会場に開催する本格的な屋外クラシックコンサート	28,765	約8,000人	音楽
大阪クラシック	初秋の1週間、御堂筋・中之島を会場に大阪フィルメンバーによるクラシックのミニコンサートを集中開催する事業	34,500	87公演 50,200人	音楽
野外演劇フェスティバル	大阪市内の公園等を舞台に、秋の一定期間に複数の劇団が野外劇・テント劇を開催（広報支援のみ）	300	6劇団・24公演 約2,300人	演劇

戦略② 「府民の思いを都市(まち)づくりに大阪の活かす」～官民協働のプラットフォーム

事業名	概要	23当初予算	22実績	分野
江之子島アートセンター（仮称）構想 〔名称：江之子島文化芸術創造センター〕	現代美術センター所蔵作品の活用のほか、アーティスト、住民、企業、大学、NPO等の交流機会を提供。24年4月オープン予定。 ※ 現代美術センターの運営、所蔵作品の収蔵・活用、並びに江之子島への移転・準備経費	64,516 ※	アートセンター構想検討会 3回開催	
水辺のにぎわい創出事業（再掲）	水都大阪2009の仕組みとノウハウを継承しながら、府・大阪市・民間が連携し、水辺のにぎわいづくりやまちの活性化に向けた活動を展開（水都賑い創出実行委員会への負担金）	37,324	来場者数 約32万人	

大阪府・大阪市の文化関連事業一覧

(大阪市事業の「今後の方向性」についての検討結果(案))

戦略③ 「府民の力が文化を育てる」～民間の力を最大限に活かす仕組みづくり

事業名	概要	23当初予算	22実績	分野
OSAKAメセナカードの発行	広く府民の方から寄附を募り、みんなで文化を支える仕組みづくりの一つとして、大阪府文化振興基金への寄附機能の付いた社会貢献型クレジットカード「OSAKAメセナカード」を発行	○文化振興基金 10,209 ○大阪ミュージアム基金 ○御堂筋イルミネーション基金 ほか	23件	
メセナ自動販売機の設置	広く府民の方から寄附を募り、みんなで文化を支える仕組みづくりの一つとして、自動販売機の売上げの一定割合を文化振興基金に寄附いただく「メセナ自動販売機」を設置促進		8台増	
ふるさと納税制度	個人からの地方公共団体への寄附は、限度内であれば2千円を超える部分については、全額が住民税・所得税から軽減される制度。(限度額内であれば、いくら寄附しても実質自己負担は2千円) ※地方税法の一部が改正され、個人住民税に関する寄附金額控除の適用下限額が5,000円から2,000円に引き下げ(平成23年6月30日公布)。なお、この措置は、平成23年1月1日以降にした「ふるさと納税」から適用		—	
文化振興への寄附促進方策の検討	民間から民間への資金の流れを活発にするため、文化振興に関わる公益法人等への寄附税制上での取組みを検討		—	—

大阪府・大阪市の文化関連事業一覧

(大阪市事業の「今後の方向性」についての検討結果(案))

戦略④ 「地域文化をもとに大阪の魅力を向上」～大阪ミュージアム構想の推進

A 大阪のまちの魅力アップ事業

事業名	概要	23当初予算	22実績	分野
「大阪ミュージアム構想」の推進	<p>大阪のまち全体をミュージアムに見立て、御堂筋イルミネーション事業などの大阪のまちの魅力アップを図る事業を展開するとともに、地域の自主的な魅力づくりへの支援やホームページによる魅力発信などにより、元気で笑顔あふれる大阪の実現を目指す。</p> <p>A. 大阪のまちの魅力アップの主要事業</p> <p>①御堂筋イルミネーション ②御堂筋kappo ③おおさかカンヴァス推進事業 ④石畳と淡い街灯まちづくり事業 ⑤水都にぎわい創出 ⑥大阪ふれあいの水辺づくり ⑦大阪マラソン<新規></p> <p>B. 地域の自主的な魅力づくりを支援</p> <p>①特別展負担金や市町村補助金を活用して、地域の魅力づくりを支援 ②「大阪ミュージアム交流会」の開催</p> <p>C. ホームページによる魅力発信</p> <p>D. 登録物を活かした新たな魅力づくり</p> <p>①ネット上で大阪ミュージアムショップの展開 ②地域情報誌で「大阪ミュージアムを巡る」というテーマで連載 ③大手小売業者の協力で大阪ミュージアム展と大阪産(もん)即売会の検討 ④大阪検定と連携し魅力発見ツアーを検討 ⑤大阪ロケーションサービス協議会と連携し登録物をロケ地として推奨</p>	<p>A. ①御堂筋イルミネーション 386,003 (うち、緊急雇用創出基金 2,658)</p> <p>②御堂筋kappo 57,695</p> <p>③おおさかカンヴァス推進事業 192,100 (うち、緊急雇用創出基金 153,422)</p> <p>④石畳と淡い街灯まちづくり事業 659,365</p> <p>⑤水都にぎわい創出 1,070,000</p> <p>⑥大阪ふれあいの水辺づくり 145,000</p> <p>⑦大阪マラソン 100,000</p>	<p>A. ①御堂筋イルミネーション ・来場者数 約168万人 ・実施区間：淀屋橋交差点から北久宝寺町3丁目交差点の約1.4km</p> <p>②御堂筋kappo 来場者数 約40万人</p> <p>③おおさかカンヴァス推進事業 募集224件、実施23作品</p> <p>④石畳事業実施6地区のまちづくりへの支援</p> <p>⑤水都にぎわい創出 ・ライトアップ 2箇所完成 ・護岸修景、遊歩道整備 着手 ・船着場 3箇所完成</p> <p>⑥大阪ふれあいの水辺づくり ・基盤整備 着手</p>	
舞台芸術活動振興事業助成金	大阪市内のホール・劇場で行う公演に対し会場費、印刷費等を助成し、芸術活動の振興及び市民の鑑賞機会拡大を図るもの	19,621	助成件数 98件 助成公演入場者数 63,250人	多分野
芸術文化機能強化(演劇事業)	舞台芸術に関する公演を実施し市民に鑑賞機会の提供。舞台芸術にかかわる次の時代を担う若い人材及び観客を育成する事業を実施。	16,401	(22実績なし)	演劇
アジア映画祭、CO2	アジア映画の紹介(コンペティション、未公開作品)、ゲストとの交流会、字幕講座、大阪をロケ地とした助成作品の制作・上映(CO2)等。	28,750	入場者数 6,727人	メディア
大阪ヨーロッパ映画祭	ヨーロッパ映画の紹介、ゲストとの交流会、子どもを対象としたワークショップ、学生対象の映画塾等。	7,000	入場者数 6,299人	メディア

B 地域の自主的な魅力づくりを支援

C ホームページによる魅力発信

D 登録物を活かした魅力づくり

大阪府・大阪市の文化関連事業一覧

(大阪市事業の「今後の方向性」についての検討結果(案))

戦略⑤ 「大阪固有の文化資源を活用、創造」

事業名	概要	23当初予算	22実績	分野
上方演芸資料館運営費	上方演芸に関する資料の保存・収集及び資料展示や演芸番組等の視聴サービスなどを通じて府民に上方演芸に親しむ場を提供	100,000	展示室入館者数28,750人 総入館者数94,761人 ※開館4～12月(9か月間)	
大阪文化再発見事業	共催講座、新なにわ塾、おおさかふみんネット、阪神奈大学・研究機関生涯学習ネット	20	<ul style="list-style-type: none"> 主催講座 12コマ開催、727人受講 共催講座 10コマ開催、1,242人受講 HSNネット公開講座フェスタ 30コマ開催、2,299人受講 HSNネット大学共催講座 61コマ開催、5,910人受講 	
芸術文化顕彰事業費	大阪文化賞、大阪文化祭賞、山片蟠桃賞	2,186	<ul style="list-style-type: none"> 大阪文化賞 表彰1人 大阪文化祭賞 表彰7人(団体) 山片蟠桃賞 表彰1人 	
大阪楽座事業(再掲)	歴史的建造物を活用した文化活動を支援することにより、活動の場の拡大とまちの賑わいづくり、歴史的建造物を保存・活用する府民意識の醸成	—	実施事業数 16件	
アーティストバンク	地域や学校での取り組みを促進するため、次世代育成に関するプログラムやアーティストの情報を整備し、文化課HP等で広く発信	—	<ul style="list-style-type: none"> 団体登録— 142団体 個人登録— 83名 	
観光振興の推進	国内外からの集客を図るため、近隣府県等と連携した観光プロモーション、都市魅力の発信、受入環境の整備、国際会議の誘致等	78,985	観光プロモーションや多言語ホームページによる情報発信等の取り組みを進め、内外からの集客を促進	
大阪府文化資産デジタルアーカイブ事業	府が保有する貴重な文化資産を後世に残していくため、最新の超高精細デジタル画像データでアーカイブ(保存)するとともに、このデジタル画像データを活用して広く国内外に向けて大阪文化の情報発信を行い、さらに、その利活用を通じて新たなビジネスの創出	1,105	《平成22年度有償・無償貸出数》 平成23年3月31日現在 有償貸出 14件、18点 無償貸出 2件、2点 合計 16件、20点	
なにわの伝統野菜の振興	古くから大阪の食文化を支えてきた「なにわの伝統野菜」の発掘と復活に取り組む。また、平成17年10月に創設した「なにわの伝統野菜認証制度」を活用し、「なにわの伝統野菜」の生産振興と消費拡大	—	認証件数(生産7件、加工2件)	
「大阪人権博物館」「アジア・太平洋人権情報センター」「大阪国際平和センター」における資料収集と情報発信	<p>○大阪人権博物館の運営事業等に補助を行い、人権に関する歴史資料を収集保存、公開し、人権思想の普及と、豊かな人権感覚を育む「人間教育」の推進、人間性豊かな文化の発展に貢献</p> <p>○国際化時代に対応した府民の人権意識の高揚と、アジア・太平洋地域への多面的な交流の一環として、国際人権情報交流拠点となるアジア・太平洋人権情報センターと連携し、人権尊重の社会づくりを推進</p> <p>○戦争や平和に関する資料の収集・保存・展示や講演会等の開催を行う大阪国際平和センターに補助を行い、府民の平和意識の醸成を図る。また、展示リニューアル計画策定に対して補助</p>	<p>大阪人権博物館 71,585</p> <p>アジア・太平洋人権情報センター —</p> <p>大阪国際平和センター 50,710</p>	<p>大阪人権博物館 入館者数63,395人</p> <p>大阪国際平和センター 入館者数75,450人</p>	
文楽伝承事業	大阪が世界に誇る伝統芸能である「人形浄瑠璃文楽」の保存継承事業を行う(財)文楽協会に補助を行い、技芸の伝承とともに鑑賞機会の充実等	20,702	国立文楽劇場 文楽有料観客数 92,338人 文楽芸員数 80人	
百舌鳥・古市古墳群世界遺産登録推進事業	百舌鳥・古市古墳群を世界の宝として確実に未来に継承し守っていくため、世界文化遺産登録に向けた取り組みを進め、府民が大阪の歴史を再認識するきっかけとし、誇りの持てる大阪づくりに寄与	12,823	府市合同会議2回開催 有識者会議1回、専門部会2回開催 暫定一覧表記載記念講演会(500名参加)・シンポジウム(東京会場:350名参加)開催(共催)	

大阪府・大阪市の文化関連事業一覧

(大阪府事業の「今後の方向性」についての検討結果(案))

事業名	概要	23当初予算	22実績	分野
大阪文化賞、大阪文化祭賞	大阪の芸術文化に貢献のあった方や優れた公演を表彰することにより、大阪の文化芸術活動の活性化を図る(実行委員：府市及び21協会)	1,805	文化賞 1名 文化祭賞等 7名	
咲くやこの花賞	将来の大阪文化を担うべき人材に「咲くやこの花賞」を贈呈(美術、音楽、演劇・舞踊、大衆芸能、文芸その他の5部門を設定)	3,000	5名(各部門1名ずつに贈呈)	美術、音楽、大衆芸能等
三好達治賞	三好達治を顕彰し、あわせてその年最も優れた詩集を発表した詩人に贈呈(基金充当)	3,500	三好達治賞 1名	文学
織田作之助賞	大阪文学振興会、関西大学、毎日新聞とともに、織田作之助を顕彰し、「織田作之助賞」、「織田作之助賞青春賞」、「織田作之助賞青春賞佳作」を贈呈。	1,000	織田作之助賞 1名 織田作之助賞青春賞 1名 織田作之助賞青春賞佳作 1名	文学
文学振興事業	大阪ゆかりの文学作品の背景となる名所・旧跡を探訪する「文学散歩」、大阪ゆかりの作家による「文学講演会」を開催。	650	文学散歩 5回 410名	文学
新進芸術家プロモート事業	「咲くやこの花賞」受賞者等の公演、作品発表機会を提供	29,000	13公演、8ワークショップ、3美術展	多分野

戦略⑥ 「エンターテインメントによる都市の活性化」～ひと・モノ・金を呼び込む

事業名	概要	23当初予算	22実績	分野
	◇ 内外から多くの人を集容するエンターテインメントや世界トップレベルの競技、複合コンベンションなどの大規模集容施設による大阪・関西のにぎわいづくりを進めるなど、多様な民間投資を呼び込む。 (日本万国博覧会記念公園、大阪駅北地区、大阪ベイエリア、近鉄花園ラグビー場など)		<ul style="list-style-type: none"> 万博記念公園南側ゾーン活性化事業の事業者公募の実施 カジノを含めた統合型リゾート(IR)立地のための検討会の設置・会議の開催 IRに関する基本的な考え方を公表 国が検討している「総合特区制度」に関するアイデア提案募集において、「国際集容エンターテインメント特区」を提案(H22.9) 	

大阪府・大阪市の文化関連事業一覧

(大阪市事業の「今後の方向性」についての検討結果(案))

戦略⑦ 「あらゆる施策に文化力を活用」

事業名	概要	23当初予算	22実績	分野
音楽を活用した感動提供事業	・特別支援学校コンサート … 府内の特別支援学校の生徒を国際障がい者交流センター（ビッグアイ）への招待、支援学校に出向いて行う日本センチュリー交響楽団によるコンサート ・病院コンサート … 入院、通院の患者等に生の音楽を聞く機会を提供するため、病院に出向いて行う日本センチュリー交響楽団によるコンサート	—	・特別支援学校コンサート …（センター実施）10校、児童・生徒951人（訪問実施）4校 ・病院コンサート … 5病院	
地域力再生支援事業	小学校に学校支援地域本部をはじめとする地域住民の交流・活動拠点を整備するとともに、この拠点を活用し、小学校区単位で防犯、防災、高齢者等の見守りなど住民主体の取組みが本格的に広がっていくよう支援	59,200	・要援護者を対象とした地域災害支援マップの作成（13小学校区） ・医療情報キットの作成・普及（18小学校区）	
アートを活かした障がい者の就労支援事業	障がい者が創作した創造性豊かな、芸術性に溢れる作品を「現代アート」として評価し、これをマーケットに繋げていくことにより、アーティストとしての自立に向けたチャレンジを支援	4,000	巡回展の開催（平成23年3月8日～3月13日）	
障がい者芸術・文化促進事業	障がい者の社会参加を促進し、府民の障がい者への理解を深めるため、国際障がい者交流センター（ビッグアイ）の活用により様々な芸術・文化活動の機会を提供	20,805	体験型講座（3コース）・発表会（4回）等の実施	

戦略⑧ 「未来を担う次世代の育成」～子どもの心に感動を！

事業名	概要	23当初予算	22実績	分野
芸術文化振興補助金	府内の芸術文化団体が行う次世代育成に資する文化活動に補助し、子どもや青少年が芸術や文化に親しむことによる心豊かな成長や、大阪の文化を担う人材のすそ野の拡大	10,246	実施事業数 16件	
音楽指導事業	府内の中学・高校に講師を派遣して行う吹奏楽の合奏指導、管楽器・打楽器の演奏技術講習会	2,600	①派遣音楽指導 42団体 ②ミュージックキャンプ 中止 ③管・打楽器講習会 参加318人	
音楽体験事業	・タッチ・ジ・オーケストラ … 子どもがオーケストラの楽団員とともに楽器に触れて音を出したり、オーケストラの中で演奏を聴いたり、指揮をしたりとオーケストラのあらゆる面を体験できる日本センチュリー交響楽団によるコンサート ・星空ファミリーコンサート … オーケストラによる演奏に加え、指揮者体験コーナーやクイズなどへの参加ができる親子で気軽に楽しめる日本センチュリー交響楽団による野外コンサート ・特別支援学校コンサート … 府内の特別支援学校の生徒を国際障がい者交流センター（ビッグアイ）への招待、支援学校に出向いて行う日本センチュリー交響楽団によるコンサート	—	・タッチ・ジ・オーケストラ … 20校1,812人 ・星空ファミリーコンサート … 約4,000人 ・特別支援学校コンサート …（センター実施）10校、児童・生徒951人（訪問実施）4校	
次世代育成型メセナ自動販売機設置事業	売上金の一部を活用して文化を通じた次世代育成事業を実施する次世代育成型メセナ自動販売機を設置 （メセナ自動販売機：広く府民の方から寄付を募り、みんなで文化を支える仕組みづくりの一つ）	—	4台	
輝け！子どもパフォーマー事業	「メセナ自動販売機」「次世代育成型メセナ自動販売機」からの寄附金を財源として、文化に親しみ、参加、表現する機会を提供する事業のうち、子どもたち自身が参加し発表する事業に対して補助を行い、子どもたちの活発な文化活動を促進	—	8事業実施	
「人材バンク」「プログラム集」の整備、情報発信	地域や学校での取組みを促進するため、次世代育成に関するプログラムやアーティストの情報を整備し、文化課のホームページなどで広く発信	—	登録アーティスト数 204件	
フェスバ次世代シアター事業	咲洲庁舎の公開空地（フェスバ）を子どもたちが様々な文化・芸術に親しむ文化活動の場として提供	—	〔23年度新規事業〕	

大阪府・大阪市の文化関連事業一覧

(大阪市事業の「今後の方向性」についての検討結果(案))

事業名	概要	23当初予算	22実績	分野
トップアスリート小学校ふれあい事業	府内小学校にプロ・アマのトップスポーツ選手を派遣し、児童と対話や技術指導を行うことで、スポーツに親しむ態度や習慣を身につかせ、夢や希望を与える。	375	申込み290校、派遣決定67校 参加児童数 延べ9,964名	
地域力再生支援事業(再掲)	小学校に学校支援地域本部をはじめとする地域住民の交流・活動拠点を整備するとともに、この拠点を活用し、小学校区単位で防犯、防災、高齢者等の見守りなど住民主体の取組みが本格的に広がっていくよう支援	59,200	・要援護者を対象とした地域災害支援マップの作成(13小学校区) ・医療情報キットの作成・普及(18小学校区)	
大型児童館ビッグバン事業	「遊び」をテーマに、子どもの豊かな遊びと文化創造の中核拠点として、「子どもたちの遊びと文化の創造機能」、「地域の遊びを振興、支援する機能」、「子どもの健やかな成長を支える人材の育成機能」を担う。	25,830	・館全体のテーマに基づいた全館事業 ・子どもの夢や創造性を育む工房事業 ・子どもたちの感性を豊かに育むための各種公演	
「あすなる夢建築」大阪府公共建築設計コンクール	将来の技術者の育成に寄与するとともに、永く府民に愛され親しまれる公共建築づくりを進めていくことを目的とし、小規模な公共建築物を題材に府内の高校生や専修学校生等からアイデアを募集し、最優秀作品の提案を活かして事業化	59	応募登録数 329組 応募作品数 254点 入賞作品(最優秀作品賞1点、優秀作品賞3点、佳作3点、奨励賞2点)	
スクールカラーサポートプランの推進	スーパーインストラクター(各界で活躍するアーティストやアスリート等)の活用	2,072	招へいした講師数 合計16名	
学校支援人材バンク	地域や社会などで活躍する優れた技能や専門的な知識を有する人を「学校支援人材バンク」に登録し、指導者として学校教育に広く参画いただくなど活用	154,186	登録者数 4,885人 (平成23年3月末現在)	
芸術系の専門学科高等学校の運営(港南造形高校、夕陽丘高校、東住吉高校)	・港南造形高校…美術、造形、工芸、デザイン等に関する幅広い技術等 ・夕陽丘高校…音楽に関する専門的知識と技術等 ・東住吉高校…能、狂言、歌舞伎、文楽等我が国の伝統芸能の基礎に関することや、落語や漫才等を中心とした笑い及びエンターテインメント等 (※専門学科・総合学科を設置する学校を支援する予算)	6,396 ※	・夕陽丘高校 特別レッスン 6名 各1回 ピアノ調律 100回 ・東住吉高校 合同練習や卒業発表会における外部人材の招へい 12名 27回 舞台吊物・舞台照明設備・AV設備等保守点検	
出かける博物館事業(府立弥生文化博物館、府立近つ飛鳥博物館)	考古資料などをとおして弥生～古墳時代を初めとした歴史への関心と学習意欲を高めるための各種学習支援プログラムを用意し、小・中・高校への出前授業を行う他、さまざまな施設や団体と協働でワークショップや講演会を行い、大阪の歴史と文化を身近に体感	弥生文化博物館 131,687 近つ飛鳥博物館及び近つ飛鳥風土記の丘 142,269	出前授業132回、課外活動との連携20件、資料貸出7件 出張講演会46回、館外ワークショップ32回	
学校de博物館事業(大阪人権博物館(リパティおおさか))	大阪人権博物館の学芸員が学校を訪問し、総合的な学習の時間、社会科、保健体育科、家庭科など教科学習などにおける児童・生徒の人権学習を支援するプログラム	大阪人権博物館 71,585	大阪人権博物館 入館者数63,395人	
日本民家集落博物館「昔の暮らし展示体験事業」	移築復元した江戸時代民家においてボランティアが中心となって、小学生を対象に祖父母の時代の季節ごとの暮らしや遊びの語り聞かせ、体験活動を実施	日本民家集落博物館 8,511	昔の暮らし展示体験事業(1月14日～2月27日) 利用児童数 16校 1,329名 期間内入場者数 4,146人	
舞台鑑賞会(オーケストラ)	主に学生に本格的なクラシック音楽に親しんでもらうため、小学生から25歳迄の学生を1,000円(一般3,000円)とした低価格のコンサート。	10,630	入場者数 2,147人	音楽
舞台鑑賞会(歌舞伎、能、文楽)	第一級の芸術公演に気軽にふれる機会を提供	15,290	歌舞伎 641名、能・狂言 498人、文楽テーマ 1,314人、親子文楽 1,925人	文楽 歌舞伎
中高生のための文楽鑑賞教室	国立文楽劇場の初心者向け公演を市立小・中・高校生が、授業の一環として観賞できる機会を提供する	4,200	20校 2,510人	文楽
中学生のための交響楽教室	シンフォニーホールでの大阪フィルのフルオーケストラコンサートに市内中学校を招待し、本格的なクラシック音楽に触れる機会を提供する。	9,572	1,734人	音楽
中高生が参加するコンサート	大阪市内中学校の吹奏楽部学生と大阪フィルが共演するコンサート。	5,605	790人	音楽
青少年芸術体験事業	市内小中学校で、文楽・歌舞伎・ダンス・アート等の鑑賞、体験授業を実施	20,000	24回	多分野

大阪府・大阪市の文化関連事業一覧

(大阪市事業の「今後の方向性」についての検討結果(案))

戦略⑨ 「推進・評価体制」

事業名	概要	23当初予算	22実績	分野
文化振興会議	文化振興条例に基づく諮問機関。委員12名（任期23年8月～25年8月） 現行計画（22年度～24年度）の後継計画を24年2月の次回会議で諮問予定。 23年度からは「文化行政にふさわしいPDCAサイクル」構築のため、委員による現地視察の導入など事業評価の取り組みを強化。	157	開催1回 (検証・評価システムの構築)	

その他① 施設運営関係 → 施設特性、地域性により個別に検討

事業名	概要	23当初予算	22実績	分野
中央公会堂管理運営業務代行料等	国の重要文化財である大阪市中央公会堂を維持・活用するため指定管理者制度による運営を実施	0	利用率 67.45%	多分野
芸術創造館管理運営業務代行料等	芸術創造館を練習室とホールを兼ね備えた演劇・音楽のインキュベーションセンターと位置付け、施設運営とともに、発掘・育成・プロモーション事業を実施。	45,514	利用率 59.6% 演劇公演 60回、4454人 音楽ライブ 1回、86人	演劇 音楽
クラシック音楽普及促進事業	大阪フィル会館の一部を音楽練習等市民利用に供するための委託費+会館での市民向けコンサート実施委託	11,699	市民利用 1,031回 コンサート2公演 約700人	音楽

その他② 市民の文化活動支援事業 → 基礎自治体で行うべき事業

事業名	概要	23当初予算	22実績	分野
地域文化事業	区役所等の行う芸術文化活動を支援する	18,450	事業数 30件	多分野
イベントプロデューサー育成事業	地域で芸術文化事業を企画・運営できる人材を育成するための講座を実施	3,000	23年度より実施	多分野
IWF・国際ワークショップフェスティバル	市民の鑑賞・体験機会を提供するワークショップの見本市。市民が講師やボランティア運営サポートを努める市民協働事業。	1,000	芸術創造館自主事業 250 講座 3236名	多分野
プレーカープロジェクト	現代の芸術と地域をつなぎ、表現者と鑑賞者双方にとって有効な創造の現場を創出することを目的として実施（内、地域創造助成金5,000千円）	10,000	総来場者数 27,198人	美術
文学碑記念の集い	文学碑建立を記念して、毎年7月の第1土曜日に、文学に関する講演等を行い、大阪に関わる文学や芸術、歴史などを学ぶ。	550	文学碑記念の集い 1回 112名	文学
文学碑維持管理	文学者の生没の地や文学作品の主要舞台となった場所に設置した文学碑の維持管理（市内15基）	—	文学碑15基の維持管理	文学

大阪府・大阪市の文化関連事業一覧

(大阪市事業の「今後の方向性」についての検討結果(案))

その他③ 運営補助関係 → 原則として廃止。大阪フィル、文楽協会については別途検討。

事業名	概要	23当初予算	22実績	分野
オーケストラハウス管理費	豊中のオーケストラハウス（日本センチュリー交響楽団に賃貸し）の修繕費等	1,022	23年度より予算措置 自立化に向けた取組み期間であるH22年度においては、オケハウスを旧財団法人大阪府文化振興財団へ無償貸付	
日本センチュリー交響楽団のフォロー	23年4月をもって内閣府所管の公益財団法人に移行。府から自立化。以後助成金ゼロ、役員派遣なし。社会貢献活動や府民向けコンサートを行うことを条件に旧基本財産20億の活用を認める。スポンサー獲得等に協力。	—	自立化に向けた取組み期間であるH22年度においては、旧財団法人大阪府文化振興財団へ1.1億円を運営補助 公演数計119回〔（フルオケ）91回（アンサンブル）28回〕	
大阪フィルハーモニー協会	(社)大阪フィルハーモニー協会運営補助金要綱に基づき、同団体の活動支援のため助成するもの	110,000	公演数 111回	音楽
文楽協会	人形浄瑠璃文楽の保存・普及を図る文楽協会の事業費及び管理費を補助	52,000	公演数 433回	文楽
大阪市ユースオーケストラ	大阪市ユースオーケストラ運営補助金要綱に基づき、同団体の活動支援のため助成するもの	1,840	公演数 4回	音楽
日本伝統工芸展	工芸の7部門にわたる展覧会を開催し、市民の伝統工芸への興味・関心を拡大する	160	入場者数 6,447人	その他

その他④ 見直し（廃止）

事業名	概要	23当初予算	22実績	分野
ミュージシャングランプリOSAKA	アマチュアミュージシャンを対象としたコンテストを開催し、優秀な人材を発掘・育成	15,000	コンテスト応募数 598組、決勝大会観覧者数 982人	音楽
創造活動支援事業(中之島4117)	相談業務と情報提供事業を実施し、芸術家や芸術系NPOの支援育成を行うとともに、蓄積されたネットワークや、公募による新たな人材と協働し、芸術文化活動を支える人材育成を実施	20,000	訪問者数 2,078人 相談件数 67件	美術 その他
見巧者	大阪の若手芸術家等のプロフィール等を収集・発信するウェブサイト	8,500	登録者累計 1,155件 アクセス数 449,717件	多分野
紙媒体による文化情報発信	文化情報誌「大阪人」を活用した情報発信	15,174	文化情報掲載258ページ	その他